

3・13 憲法講演会

国民の選択で政権交代が実現した歴史的な総選挙から半年余。民主党(連立)政権は、早くも正念場を迎えてます。「カネ」に足元を掬われているわけですが、政策も、大企業と日米「同盟」の大もとに踏み込めないため、国民の期待に応えるものになっていません。

民主党政権下の憲法情勢と九条の会

とくに現在表面に出ているのが、小沢氏主導の「国会改革」、つまりは国のかたちを改変する動きです。これは、鳩山氏をはじめとする民主党の根強い改憲体質から出たもので、早晚、憲法改正の論議は本格化することでしょう。

国民本位の政治への前進か、強権的な政治への暗転か、2つの可能性を孕む新しい情勢の下、九条の会運動発展のカギは、やはり、九条の会結成の原点を大切にすることの他にない、と信じます。

(小林先生からのアブストラクト)

日時：3月13日(土) 15時開場・15時30分開会

講師：小林 武 氏（愛知大学法科大学院教授）

資料代：一般500円、学生無料

(会場)

愛知大車道校舎2号館3階231教室（地下鉄桜通線車道駅1番出口徒歩2分）

主催：愛知大学九条の会、「九条の会」愛知・大学人の会